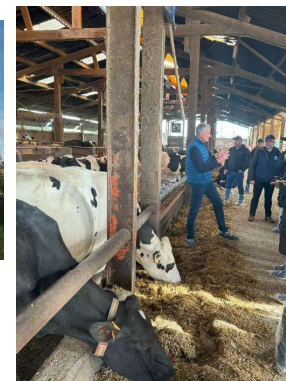


講演③

持続可能な酪農の実現における
酪農教育ファームの価値

講演者：
藤本 勇二
(武庫川女子大学 教授)

講演 3
演題 持続可能な酪農の実現における
酪農教育ファームの価値



演者 藤本 勇二 (武庫川女子大学 教授)

IDFワールドデューリーサミット2024ビジネスミーティングに参加して

食農教育の問題意識を背景にフランスの酪農教育ファーム視察での気づきを踏まえて

子どもが、現実の問題に真摯に向き合っている酪農家の姿に出会う

酪農家は、酪農の生態系や周囲の環境との関係を示す

酪農家は、酪農の社会的な役割や意義を示す

酪農家が酪農の仕事の価値に係る側面の自覚を高める

酪農に接近し、酪農のファンを増やしていく

孤立するコロナ禍の子どもたち

「少なくとも約10%の子どもが最低1個の新型コロナウイルス感染症関連のトラウマとなりうるできごとを体験していた。」※1

※2002～2006年に一般住民を対象に実施された世界精神保健日本調査における、「命にかかわるような病気」または「自宅での暴力の目撃」の体験率と同程度であると述べている。

学校では、行事や体験活動よりも教科等の学習が優先される。
行き場のない不安やストレス等を抱えたまま過ごしている。

感染症対策のために、人と人の距離をとることで(Social distancing: 社会的距離)
人とのつながり、絆、信頼感が失われている。

一つの希望は、「食農教育は、人とのつながりを生む」※2

1山野則子(2021)令和2年度厚生労働行政推進調査事業(厚生労働科学特別研究事業)
コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究保護者調査・子ども調査報告書
2上岡美保(2021)食農教育の灯を絶やさないために 家の光 2021年11月号

学校の学び	農の場での学び
学ぶことが用意された学び	何を学ぶか、何に感動するかを決められない学び
事前に学ぶ内容を知ってる	学んだことは事後的に分かる

食農教育は、信頼感を「見える化する」営み

傷ついた心が回復するためには
「たくさんの大人たちに守られている、友だちもいっしょなんだという絆を感じる」ことの大切さ※3

「子どもの心の回復には、子どもが安心できる環境が不可欠」※4

「強いストレスによって傷ついた心が回復する条件は、
一つには『信頼できる他者』が存在することだった。」※5

食農教育の意義は、「信頼できる他者」の存在を実感できること

3 日本心理臨床学会・支援活動委員会(2021) コミュニティの危機とこころのケア <https://www.ajcp.info/heart311/>
4 文部科学省(2010) 子どもの心のケアのために一災害や事件・事故発生時を中心に
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1297484.htm
5 仁平義明(2015) 災害からのレジリエンス 学術の動向 pp44 - 54

食農教育への高まる期待

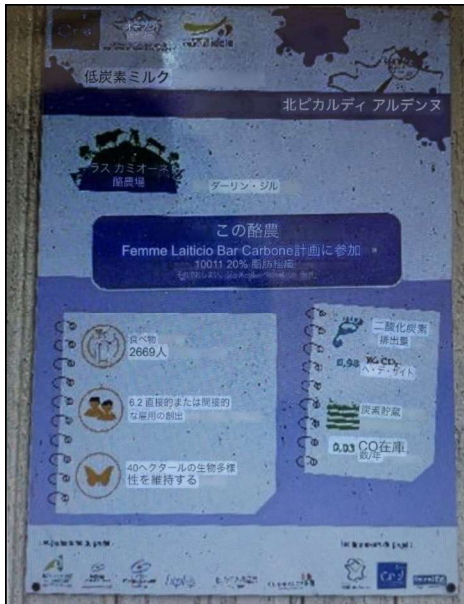
しかしながら
コロナ禍は、**食農教育の課題**を明確にした

食農教育は、活動や体験が圧倒的に優れている故に
命の尊さ、働くことの大切さ、地域のよさといった
情緒的で理想的に過ぎた

現実の問題に真摯に向き合っている大人の姿こそ大切

減反や兼業化、高齢化、食の安全等に出会っていくことの子どもにとっての
価値を見直す

食農教育では、子どもを通して大人も暮らしを自覚する

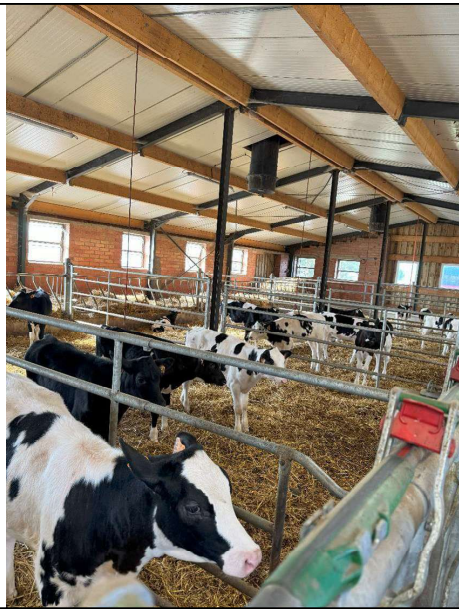


オー・ド・フランスにあるジル・デュラン氏の農場。牛乳、ジャガイモ、野菜、ビートルートの生産者。80頭の牛を飼い、生乳の一部は農場でバターの生産に使用。



立ち位置としてのファシリテーション

出迎えたときのパンをいただくことで
場が温まるギフト。
白い壁に飾った花。
天井やレンガ。
そして整頓された、
古いけども清潔感のある環境。
ファシリテーションとしての場としての
酪農教育ファーム



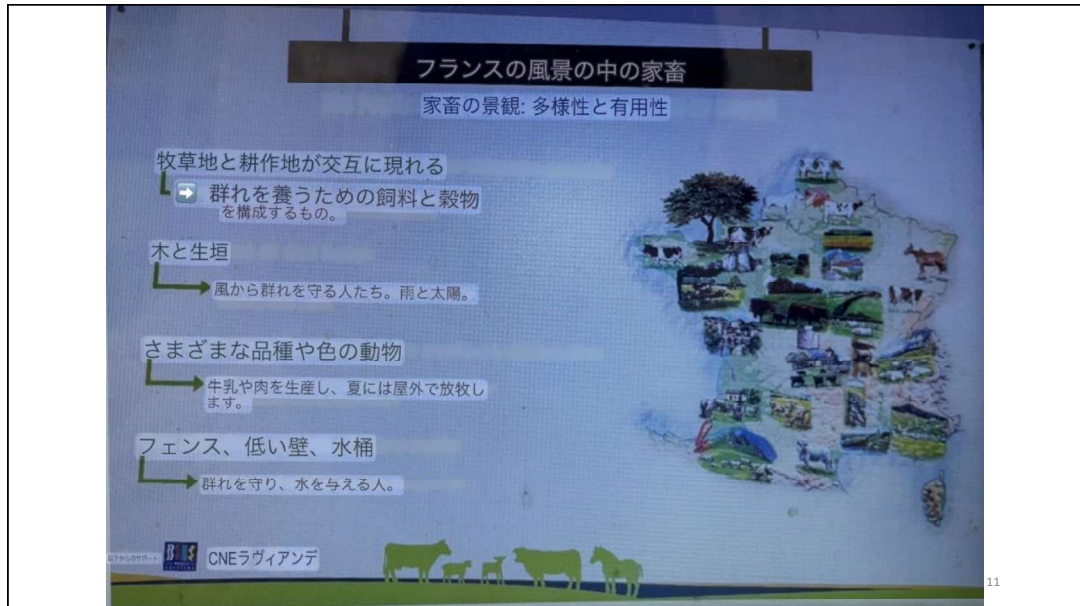
環境構成としての酪農教育ファーム

酪農教育ファームが持っている人的物的環境は、並べられたミニチュアの農機や説明用のカラフルなパネル。入り口から牧場へつながっていく経路にある。
幼児環境と同じような構成。そうするともっと子供たちが関わるナッジ的な環境構成が求められる。

9



人的環境としての酪農家の佇まいやあり方。まさに酪農家の在り方が大切になる。



11



12



14





16

職業観
「働くってすごく好きなことを仕事にしたら、こんなに楽しそうに、仕事が出来て、あこがれました。やりたい仕事を見つけないと思いました。」

目標を決めて実践する
「酪農の仕事は今、エサ代が高かったり、後継者がいなかったりしてとても大変だということを学びました。働くのは、とても大変なんだなと思いました。自分が働く時に、大変でもあきらめないでがんばりたいと思います。なりたい自分になるために、やりたくないことでもがんばっていっしょうけんめいやりたいと思います。」

役立ち
「牛を飼っていることでわたしたちが健康にいられるのは、酪農家さんと牛さんががんばってくれているからだと分かりました。やりがいがある、みんなを笑顔にできて、やさしくできる働く人になりたい。まずは自分の夢を見つけて、みんなを笑顔にしたいです。」

ポスター発表：IDFワールドデリーサミット

2024年11月丹波篠山市立今田小学校4年生

酪農家の多くは、「酪農家の仕事の価値」に係る側面について、「酪農教育ファームが児童の学びと関係するとは考えていない」(石井2010)
酪農家は意識していなかったが、SDGsの要素として取り入れることができる内容(社会のための循環的な仕組みの構築、他者のことを考えること)を見出せた
石井・藤本(2023)SDGsの視点を取り入れた食育のコンテンツ開発の研究-食材を通して特に乳を中心に-

酪農にかかわる経済と経営を足場にキャリア教育の視点を取り入れた食育研究

エサ代にかかる費用の割合

時期	エサ代 (円)	その他の費用 (円)
昨年度11月	61	39
今年11月	81	19

牛乳を売ったお金のうちエサ代にかかる費用。その他の費用で電気代、ガソリン代、人件費などを出すとほとんど残りません。

クレイングラスアメリカ産 1ブロック 50kg

昨年11月 2808円

今年11月 4009円

2022年度、2023年度 5年生社会科 授業資料より

酪農教育ファームの教育的な価値を
酪農家の経済活動や経営努力といった新たな視点から見出すことができる。
合わせて、酪農家が自覚していない「酪農家の仕事の価値」に係る側面について、酪農家がより自覚できる可能性がある。

